

大会第1日〔5月26日(土)〕 10:00～11:30 専門分科会

A 会場

「岸保勘三郎先生の業績を偲ぶ：日本の数値天気予報の発展を振り返り、将来を展望する」

趣旨説明

時岡 達志 (JAMSTEC)

座長：楠 昌司 (気象研)

- A101 増田 善信 (元・気象研) 数値天気予報の父・岸保勘三郎先生
- A102 松野 太郎 (JAMSTEC) 数値天気予報実現後の気象学
- A103 黄 栄輝 (中国大気物理研) 岸保教授のアジアモンスーンダイナミクスと数値天気予報における  
中日両国の協力研究に対する貢献
- A104 古川 武彦 (気象コンパス) 岸保先生との触れ合い
- A105 室井 ちあし (気象庁数値予報) 気象庁における現業数値天気予報の発展
- A106 前田 修平 (気象庁気候情報) 岸保先生と長期予報

大会第1日〔5月26日(土)〕 10:00～11:30 一般口頭発表

## B 会場

### 中高緯度

座長：堀 正岳 (JAMSTEC/RIGC)

- B101 平沢 尚彦 (極地研) 南極内陸域の冬季の昇温現象と対流圏の総観規模循環
- B102 大島 和裕 (地球研) レナ川河川流量の経年変動に関わる大気水循環
- B103 猪上 淳 (JAMSTEC/RIGC) バレンツ海の海氷減少と冬季シベリア大陸上の寒気形成の関係について
- B104 堀 正岳 (JAMSTEC/RIGC) 2011/2012 年冬季に東アジアに襲来した寒波と北極・シベリア大陸上における寒気形成メカニズムとの関係
- B105 飯島 慈裕 (JAMSTEC) ユーラシア大陸冬季の寒気形成と接地逆転層の発達・衰退
- B106 馬淵 未央 (京大院理) 冬季極東域で卓越する温度偏差パターンとそれに伴う大気循環場の特徴
- B107 藤井 晶 (京大院理) 2010 年夏にヨーロッパ・ロシア域で発生した持続的なブロッキングのメカニズムと予測可能性

C 会場

大気力学

座長：田中 博(筑波大計算科学)

- C101 池田 剛志 (東大理) 円筒容器内の回転流体に生じる振動現象
- C102 安田 勇輝 (東大院理) 地球角速度の水平成分に起因するコリオリ力による慣性重力波特性の変化
- C103 田中 博 (筑波大計算科学) 線形傾圧モデル(LBM)を用いた北極振動固有解の構造
- C104 野本 理裕 (東大院理) NICAM を用いた軸対称南極大陸周辺の大気擾乱の力学的研究
- C105 中村 晃三 (JAMSTEC/RIGC) 仮温度減率を使った大気の静的安定性の分類についての再考
- C106 岡島 悟 (東大先端研) 2011 年暖候期中緯度北太平洋に現れた暖水偏差に対する大気応答の可能性
- C107 内藤 陽子 (京大院理) 全球的な QBO 影響の季節性に関する解析 時間ずらしコンボジット法による解析
- C108 林 未知也 (九大院理) 積雲対流に伴う熱帯大規模運動に対する惑星渦度水平成分立ち上げの重要性

D 会場

熱帯大気

座長：安永 数明 (JAMSTEC)

- D101 梶川 藍 (京大防災研) インド亜大陸北東部における降水変動
- D102 マルズキ (京大生存研) Statistical Analysis of the Tropical Intraseasonal Oscillation Based on 30 Years of Outgoing Longwave Radiation Data
- D103 安永 数明 (JAMSTEC) 赤道波動擾乱の等価深度による降水特性の違い
- D104 勝俣 昌己 (JAMSTEC) インド洋での季節内変動に関する国際集中観測 CINDY2011 "結果速報"
- D105 森 修一 (JAMSTEC) インドネシア・スマトラ沿岸豪雨帯の形成過程について - HARIMAU2011 集中観測結果速報 -
- D106 上米良 秀行 (JAMSTEC/RIGC) スマトラ西岸域海陸日周期降雨変動の Madden-Julian 振動による変調
- D107 伍 培明 (JAMSTEC/RIGC) スマトラ島の対流活動による西沖上部対流圏の夜間加湿効果
- D108 レニ スリストヨワティ (神戸大院理) Rainfall propagation pattern and its relationship to diurnal cycle observed with a radar over Jabodetabek area

大会第1日〔5月26日(土)〕 13:30~17:00 専門分科会

B 会場

「東アジアモンスーンと黒潮(II) 中緯度大気海洋相互作用に着目した新たな研究のパラダイム」

座長：児玉 安正(弘前大院理工)

- B151 谷本 陽一(北大院地球環境) 黒潮続流上における大気下層の調節過程
- B152 升永 竜介(東大先端研) 黒潮続流域における海面気圧極小の気候平均場に見られる季節性
- B153 早崎 将光(富山大院理工) 高解像度大気海洋結合モデルで再現された北西太平洋の低気圧活動
- B154 佐藤 尚毅(東京学芸大) 黒潮/黒潮続流域における冬季の低気圧活動の経年変動
- B155 児玉 安正(弘前大院理工) ヤマセが関係する大気海洋相互作用
- B156 西川 はつみ(三重大院生物資源) 海洋前線上で実施した革新的なラジオゾンデ観測によって明らかとなったメソ高気圧
- B157 佐藤 大卓(東大先端研) 暖候期北西太平洋域における下層雲量の経年変動
- B158 藤田 啓(三重大院生物資源) 夏季オホーツク海の海面からの冷却は大気をどの程度高気圧化させるか
- B159 菅野 洋光(東北農研センター) 北日本における4月と8月気温の強い相関関係と大規模場の関係

休憩(15分)

座長：富田 智彦(熊本大院自然科学・JAMSTEC/RIGC)

- B160 加藤 輝之(気象庁数値予報) 梅雨前線帯での対流活動と下層水蒸気の役割
- B161 茂木 耕作(JAMSTEC/RIGC) 梅雨期の黄海における大気と海洋の混合層変動
- B162 久野木 梓織(弘前大院理工) 梅雨前線の北側の長崎沖に発生したレインバンド 2011年6月20日の観測事例
- B163 安藤 雄太(三重大院生物資源) 三重大学練習船「勢水丸」に常設されている超音波風速計がとらえた乱流フラックス - 黒潮横断観測 -
- B164 田中 健路(広工大環境) 冬季から春季にかけて東シナ海で発生する気象津波
- B165 吉田 聡(地球シミュレータ) 全球大気モデル、大気海洋結合モデルでの梅雨明け
- B166 山浦 剛(熊本大院自然科学) 梅雨前線活動と熱帯低気圧活動の大規模大気循環を介しての共変動性
- B167 富田 智彦(熊本大院自然科学・JAMSTEC/RIGC) 2011年7月の東アジアモンスーン極端イベントの発生メカニズム

総合討論(15分)

中村 尚他(東京大学)

招待講演(下線)の持ち時間は15分、その他の講演の持ち時間は10分。

大会第1日〔5月26日(土)〕 13:30~17:00 専門分科会

C 会場

「中層大気研究の新展開」

趣旨説明(5分)

佐藤 薫(東大院理)

座長：佐藤 薫(東大院理)

- C151 藤原 正智\* (北大院地球環境) 熱帯対流圏界面における波活動 - 再解析7種と化学気候モデル4種の比較
- C152 鈴木 睦 (宇宙研) SMILES 観測結果から導かれた,  $\text{ClO} + \text{HO}_2$   $\text{HOCl} + \text{O}_2$  の反応速度について
- C153 寺尾 有希夫 (環境研) POAM II/III と ILAS 衛星観測から得られた 1994~2000 年の冬期北極下部成層圏におけるオゾン破壊速度, PSC 発生頻度, 気温の関係
- C154 高麗 正史 (東大院理) 北半球における極成層圏雲と上部対流圏の雲の関係
- C155 坂崎 貴俊 (北大院環境科学) SMILES 観測で明らかになった中層大気オゾンの日変動
- C156 西井 和晃\* (東大先端研) 対流圏から成層圏へ伝播する惑星波の増幅について

座長：三好 勉信(九大院理)

- C157 竹下 愛実 (METI) メソモデルで再現された低気圧と対流圏界面逆転層に関する解析
- C158 林 政彦 (福岡大理) 2012 年 1 月の Biak 上空 TTL 領域のエアロゾル揮発特性の鉛直分布
- C159 井上 誠 (環境研) 北半球秋季における成層圏 QBO と対流圏循環との関係
- C160 野口 峻佑 (京大院理) 1 ヶ月アンサンブル予報における冬季極域大気の前報誤差変動について
- C161 富川 喜弘\* (極地研) 高解像度気候モデル中で発生した成層圏突然昇温の回復過程
- C162 堀之内 武 (北大院地球環境) 成層圏突然昇温時の大規模前線構造(続報)
- C163 土屋 主税 (東大院理) S 変換を用いた成層圏における重力波の水平構造の推定

休憩(10分)

座長：堀之内 武(北大院地球環境)

- C164 黒田 友二\* (気象研) 太陽紫外線変化による南半球環状モードの変調
- C165 山下 陽介 (環境研) 太陽活動 11 年周期と QBO が冬季北半球大気に及ぼす影響
- C166 石戸谷 重之 (産総研) 成層圏大気主成分の重力分離とその物質循環研究への応用の可能性
- C167 内藤 陽子 (京大院理) QBO と SAO に関連したオゾン分布 SMILES による観測とナッジング CTM による評価
- C168 三好 勉信 (九大院理) 中層大気中のプラネタリー波が超高層大気に及ぼす影響について
- C169 藤原 均\* (成蹊大) GCM シミュレーションとレーダー観測による中層・超高層大気研究
- C170 佐藤 薫 (東大院理) 南極昭和基地大型大気レーダー計画の現状 Current Status of Program of the Antarctic Syowa MST/IS Radar (PANSY)

\* は招待講演, 持ち時間は 12 分. その他の講演の持ち時間は 9 分.

D 会場

「都市域における極端気象のメカニズム解明」

座長：山田 芳則（気象研）

- D151 真木 雅之（防災科研） 気候変動に伴う極端気象に強い都市創り（TOMACS）の概要
- D152 中北 英一（京大防災研） 最新型偏波レーダーとビデオゾンデの同期集中観測と水災害軽減に向けた総合的基礎研究
- D153 菅原 広史（防衛大） 夏季晴天日の積雲発生に与える地表面顕熱の影響
- D154 相馬 一義（山梨大） 都市加熱が2008年雑司ヶ谷付近における局地的大雨に与えた影響
- D155 岩崎 博之（群馬大教育） 熱的局地循環の強度に注目した近年の強雨増加傾向
- D156 藤吉 康志（北大低温研） 東工大大岡山キャンパス屋上に設置したドップラーライダー観測(1) - 観測概要と途中経過 -
- D157 瀬戸 芳一（首都大院都市環境） 2011年8月26日に東京都区部で発生した短時間強雨事例の解析  
降水量分布と地上風系との関係について
- D158 佐野 哲也（山梨大国際流域） 夏季に山岳域で長時間維持した積乱雲に伴う豪雨の形成
- D159 楠 研一（気象研） 地上気象観測網周辺で見られた積乱雲の消長2011年8月7日 - 収束ラインの様相と昆虫による可視化 -

休憩

座長：小林 文明（防衛大）

- D160 小林 文明（防衛大） 雲レーダー・Xバンドレーダー・衛星ラッピドスキャン・可視画像による孤立積乱雲発生初期の観測 ナウキャストの可能性
- D161 藤原 忠誠（気象研） Kuバンドレーダー・地上気象観測網で捉えた線状降水帯の積乱雲の時空間構造
- D162 山田 芳則（気象研） 東京に大雨をもたらした2つの型の積乱雲
- D163 山内 洋（気象研） Cバンド固体素子二重偏波レーダーで捉えた2011年8月26日の東京の大雨
- D164 道本 光一郎（防衛大） 気象レーダーを用いた雷放電活動の短時間予測方法について
- D165 小司 禎教（気象研） GNSS 観測を用いた東京湾周辺夏季の水蒸気変動解析
- D166 瀬古 弘（気象研） 2010年10月13日に関東地方で発生した雷雨の同化実験
- D167 川畑 拓矢（気象研） 2010年7月5日の板橋豪雨事例に関するデータ同化実験

A 会場

気候システム I

座長：川瀬 宏明 (JAMSTEC/RIGC)

- A201 青木 輝夫 (気象研) 札幌における積雪中短波放射加熱と不純物による放射強制力
- A202 川瀬 宏明 (JAMSTEC/RIGC) 1980年代と1990年代の平均場の変化が北陸地方の積雪に及ぼす影響
- A203 西尾 善太 (北海道農研センター) 近年の北海道における春季と夏季の気温の関係 - 秋まき小麦の高温対策に向けて -
- A204 神田 英司 (東北農研センター) MIROC5による青森県八戸における冷害リスク判定の試み
- A205 谷貝 勇 (元気象大) 地球温暖化が影響する日本の冷夏と暑夏について (その4) 気候モデルのための解析手法について
- A206 加藤 内藏進 (岡大・教育・理科) 九州南部の4月頃の多降水日における降水の特徴と大規模場(東アジアの季節進行の中で)
- A207 加藤 内藏進 (岡大・教育・理科) 9～10月頃の東日本の多降水日の降水特性と大気場の特徴について (東アジアの季節進行の中で)
- A208 藤部 文昭 (気象研) 日本における短時間極端降水の経年変化
- A209 竹見 哲也 (京大防災研) 地球温暖化時の夏期静穏時における東京での局地降雨発生時の静的安定度
- A210 三上 岳彦 (帝京大) 2011年夏季節電による東京都心部ヒートアイランド緩和効果のデータ解析
- A211 市川 晴基 (名大院環境) 夏季晴天日における濃尾平野の高温に関する気候学的研究



B 会場

降水システム I

座長：楠 研一（気象研）

- B201 藤原 忠誠（気象研） ドップラーレーダー・ライダー観測網で捉えた関東平野の海風前線と積乱雲の発生・発達過程：2011年8月7日の事例
- B202 楠 研一（気象研） 竜巻等突風のための多点型地上観測システム - 初期結果 -
- B203 新井 健一郎（JR 東日本防災研） 2011年12月22日庄内平野に突風をもたらした複数の渦の構造
- B204 佐藤 英一（気象研） 2010年1月13日に庄内平野を通過した渦状擾乱の構造（第2報）
- B205 西橋 政秀（気象研） 冬季雷の放電点の鉛直分布と-10層高度の関連性
- B206 益子 渉（気象研） 2011年11月18日に徳之島で発生した竜巻の環境場と積乱雲の特徴
- B207 木下 仁（福岡管区気象台） 2011年11月18日徳之島付近に突風害をもたらした環境場について
- B208 小林 哲也（高知大理） 2011年8月に福岡市で発生した多重竜巻の解析
- B209 西田 智哉（東大院新領域） 冬季北西太平洋の突風率に関する解析
- B210 坪木 和久（名大地球水循環） 厳冬期北海道東部内陸で観測された降雪帯の構造

C 会場

放射

座長：岩淵 弘信（東北大院理）

- C201 竹中 栄晶（CEReS） 衛星推定日射量に基づく太陽光発電電力の把握
- C202 Khatri Pradeep（CEReS） Aerosol optical parameters and aerosol direct effects over the SKYNET sites
- C203 Khatri Pradeep（CEReS） Vertical profiles of aerosol optical parameters and aerosol direct radiative forcing over the East China Sea region in the spring season- Results based on aircraft observation and ground based remote sensing data
- C204 小山 裕貴（名大院環境） 地上設置 / 衛星搭載ライダーを用いたタクラマカン砂漠におけるダスト粒子の複素屈折率とアスペクト比の推定
- C205 岡本 創（九大応力研） CloudSat-CALIPSO による板状氷粒子の出現頻度について
- C206 松井 隆（東海大 TRIC） ピン法雲モデルによる水雲シミュレーションに基づいた衛星観測雲粒有効半径と鉛直不均質性の関係の解釈（その2）
- C207 岩淵 弘信（東北大院理） 赤外窓領域の輝度温度と巻雲の物理特性の関係

## D 会場

### 境界層 I

座長：栗林 正俊（岐阜大学流域圏科学研究センター）

- D201 辻本 久美子（東大院工） 低緯度地帯における陸風循環：カンボジアのトンレサップ湖周辺域に見られる特徴
- D202 栗林 正俊（岐阜大学流域圏科学研究センター） 東シナ海における海上大気混合層の時間変動と鉛直構造に関する研究
- D203 高橋 一之（都港湾局 / 首都大都市環境） 夏季における東京都区部の風系とヒートアイランド現象との関係（第6報） 気圧計の設置高度に誤差がある場合の気圧データの補正
- D204 菅原 広史（防衛大） 東京都心部における熱収支観測
- D205 酒井 敏（京大人環） 大気放射の過渡特性と有効放射距離
- D206 中村 美紀（京大院人間環境） 一次元モデルと観測データによる大気境界層の冷却過程
- D207 古屋 姫美愛（京大院人間環境） フラクタル日よけを用いた樹幹遮断実験
- D208 稲垣 厚至（東工大） サーモカメラを用いた二次元速度場の同定手法
- D209 近藤 裕昭（産総研） 森林の境界付近におきる反流域の風洞実験
- D210 阿波崎 たかね（京大院理） 接地境界層における組織的乱流輸送過程について

A 会場

気候システム II

座長：行本 誠史(気象研)

- A301 庭野 匡思(気象研) 積雪不純物による融雪時期の変化が土壌の物理状態に与える影響
- A302 行本 誠史(気象研) 20世紀の気候変化における人為起源の硫酸エアロゾルと有機エアロゾルの効果～雲・エアロゾル相互作用を含む気候モデルMRI-CGCM3の実験結果～
- A303 釜堀 弘隆(気象研) 全球降水量への熱帯低気圧の寄与(2)
- A304 永野 良紀(日大文理) 東アジア地域における夏季の対流圏中層高度場の客観分類
- A305 道広 有理(京大防災研) GCMによる日本周辺の降水量予測結果とモデル解像度の関係性について
- A306 中村 健治(名大地球水循環) 衛星データを用いたバングラデシュ周辺における降水特性の研究
- A307 ディアワラ アリマ(三重大院生物資源) Influence of oceanic global evaporation upon long-term variation of large-scale Sahel rainfall
- A308 齋藤 仁(東大CSIS) Normalized Soil Water Index を用いた台風1112号による土砂災害の検証 - 紀伊半島(奈良県南部)を対象として -
- A309 西田 瞬(京大院農) チベット高原における標高と温暖化トレンドの関係
- A310 小畑 淳(気象研) クラカタウ火山噴火が引き起こす気候炭素循環変動 - 気象研地球システムモデルによる解析 -
- A311 小端 拓郎(極地研) 過去1000年に見られる太陽活動によって引き起こされたグリーンランド気温変動の北半球傾向からのずれ

B 会場

降水システムII

座長：山下 克也(気象研)

- B301 村上 正隆(気象研) 多摩川上流域を対象とした人工降雨研究 - 概要 -
- B302 小池 克征(いであ) 非静力学モデルデータ等を用いた多摩川上流域における降水分布の特徴
- B303 田尻 拓也(気象研) 広範なエアロゾル種の雲核・氷晶核能に関する研究(序報)
- B304 山下 克也(気象研) 室内実験データから導出したダスト粒子のCCN・IN能パラメーター
- B305 早坂 忠裕(東北大院理) エアロゾル環境がダスト粒子の雲凝結核としての働きに及ぼす影響
- B306 佐藤 陽祐(東大大気海洋研) ビン型雲モデルを用いて検証する CFODD 上で見られる雲の成長過程
- B307 馬場 雄也(JAMSTEC/ESC) Two-moment 雲微物理スキームの放射対流平衡バランスへの影響
- B308 西垣 語人(日本橋学館大) 統計力学の正しい認識に基づく気象学への応用(その1)
- B309 西垣 語人(日本橋学館大) 統計力学の正しい認識に基づく気象学への応用(その2)
- B310 山下 達也(北大理) 火星極冠上空を想定した主成分凝結対流の二次元数値実験

C 会場

気象予報

座長：国井 勝（気象研）

- C301 大竹 秀明（産総研） 太陽光発電量予測に向けた気象庁メソ数值予報モデルの日射量予測の地域・季節特性
- C302 道本 光一郎（防衛大） 気象情報の提供や天気予報の方法に関する一考察
- C303 松田 慧（東京学芸大自然科学） WRFによる関東における都市型豪雨の予測実験
- C304 国井 勝（気象研） WRF-LETKFを用いた観測インパクト実験
- C305 牛山 朋来（土木研究所 ICHARM） LETKFを用いた2010年7月5日豪雨の再現実験
- C306 青梨 和正（気象研） 雲解像モデルアンサンブル予報誤差解析に基づくサンプリング誤差抑制法
- C307 上清 直隆（気象研） 主成分を利用したAIRSデータによる気温・水蒸気プロファイルのリトリーバル  
グローバルデータ同化実験にむけて
- C308 石橋 俊之（気象研） 観測データのインパクト評価とその応用
- C309 露木 義（気象研） 決定論的予測可能性の必要条件と変分法データ同化
- C310 榎本 剛（京大防災研） 拡張浮動小数点数を用いたルジャンドル陪函数の計算
- C311 鈴木 修（気象研） ナウキャスト手法の基礎の再定式化 - 「準不変量」を用いた定式化の提案 -

D 会場

境界層 II

座長：菅原 広史(防衛大)

- D301 栗田 進(無所属) キャノピー内乱流の相似則 - ゼロ面変位の安定度依存性との密接な関係 -
- D302 北村 祐二(気象研) 安定境界層での乱流運動エネルギーの収支解析
- D303 伊藤 純至(東大大気海洋研) 対流混合層における水平乱流拡散係数について
- D304 日比野 研志(京大院・理) ラージ・エディ・シミュレーションで再現された大気境界層内のストリーク構造の時間発展の解析
- D305 池田 亮作(筑波大院生命環境) 都市街区を対象にした並列都市 LES 気象モデルの開発
- D306 近藤 裕昭(産総研) CFDモデルの大気環境アセスメントガイドラインの策定に向けた検討について-大気環境学会での試み-
- D307 高根 雄也(筑波大院生命環境) 2011年6月24日に関東平野内陸域で発生した39.8の猛暑の形成メカニズム: 領域気象モデルWRFを用いた山越え気流に伴う昇温メカニズムの考察
- D308 渡邊 貴典(首都大院都市環境) 改良型WRF/Chemを用いた緑地の大気浄化作用に関する研究
- D309 菊本 雄紀(名大院環境) 夏季晴天日における濃尾平野の局地循環と汚染物質の動態に関する気候学的解析
- D310 板橋 秀一(九大院総理工) HDDMを用いた東アジアスケールの対流圏オゾンとその前駆体のソース・リセプター解析

A 会場

気候システム III

座長：安田 珠幾（気象研）

- A401 大鹿 美希（三重大院生物資源） 冬季北大西洋振動が翌冬の日本の気候に与える影響
- A402 中村 哲（環境研） 2つの変動モードの Coherency 指標の開発と CMIP3 マルチモデルアンサンブルで再現された NAO と ENSO の関係性について
- A403 小坂 優（ハワイ大 IPRC） PJ パターンの内部モード性とインド洋海面水温変動との相互作用
- A404 小坂 優（ハワイ大 IPRC） 東アジア夏季気候の季節予測可能性の干渉
- A405 足立 恭将（気象研） 気象研究所地球システムモデル（MRI-ESM1）
- A406 楠 昌司（気象研） 地球温暖化による降水変化の不確実性
- A407 遠藤 洋和（気象研） 高解像度 MRI-AGCM の積雲スキーム・SST アンサンブル温暖化実験におけるアジアの降水変化
- A408 安田 珠幾（気象研） 北太平洋中緯度域における海面水位分布の将来変化予測 - CMIP3/CMIP5 マルチモデルの比較 -

座長：日下 博幸（筑波大学計算科学）

- A409 望月 崇（JAMSTEC） 大気海洋結合モデル MIROC5 を用いた十年規模気候変動予測
- A410 今田 由紀子（東工大院情報理工） 大気海洋結合モデル MIROC5 を用いた季節予測実験
- A411 廣田 渚郎（東大大気海洋研） CMIP5 における対流の環境場湿度に対する感度
- A412 渡部 雅浩（東大大気海洋研） MIROC を用いた温暖化時の速い気候応答に関する研究
- A413 出本 哲（東大院理） MIROC における雲の海面水温変化に対する応答の評価
- A414 藤田 恵子（筑波大院生命環境） 複数の都市シナリオに基づいた首都圏の夏季気候の将来予測と健康影響評価
- A415 日下 博幸（筑波大学計算科学） 三大都市圏の夏季気候の将来予測実験と健康影響評価
- A416 馬淵 和雄（気象研） 気候モデルと地球観測衛星プロダクトの相互検証
- A417 大塚 成徳（京大院理） 地球流体データサーバ構築ツール Gfdnavi：新しい解析・可視化 UI



B 会場

降水システム III

座長：林 修吾（気象研）

- B401 青梨 和正（気象研） 新しい陸上のマイクロ波放射計降水リトリーバルアルゴリズムの開発（その4）
- B402 清野 直子（気象研） 2011年夏季の東京における短時間強雨について - 発生状況と再現実験 -
- B403 林 修吾（気象研） 高解像度モデルによる熱雷(夏季不安定性降水)の再現性
- B404 荒木 健太郎（銚子地方気象台） 2011年4月25日に千葉県で発生した竜巻とその親雲のドップラーレーダー解析
- B405 荒木 健太郎（銚子地方気象台） 冬季日本海で発生する渦状擾乱の発達過程 - 下部境界の影響の評価 -
- B406 渡邊 俊一（東大大気海洋研） 2010年12月30日に日本海西部で発生した渦状擾乱の数値実験
- B407 加藤 輝之（気象庁数値予報） 全球20km大気大循環モデルに基づく竜巻発生環境場の将来予測（その2）
- B408 吉崎 正憲（JAMSTEC/RIGC） 端のあるバンド状降水系による浮力の線型応答と観測による実証（1）

座長：大東 忠保（名大地球水循環）

- B409 上田 博（名大地球水循環） 2010年7月15日岐阜県南部での大雨の形成過程～国土交通省 X バンド MP レーダによる雨量推定の結果～
- B410 大東 忠保（名大地球水循環） 冬季北海道内陸部で観測された層状雲頂部の過冷却水滴層
- B411 斉藤 貞夫（気象研） 局地的大雨をもたらす積乱雲の電気的特性の解明に向けて
- B412 佐藤 英一（気象研） 高頻度・高解像度レーダー用セル認識手法の開発（ノイズフィルタリング）
- B413 平沢 尚彦（極地研） 北海道陸別町の降雪を対象にした降雪量観測の検討
- B414 鶴沼 昂（高知大院理） 四国における停滞性線状降水帯の客観的抽出手法

C 会場

観測手法

座長：篠田 太郎（名大地球水循環）

- C401 牛山 朋来（土木研究所 ICHARM） OTT Parsivel と Joss-Waldvogel ディストロメータの雨滴粒径分布検証
- C402 民田 晴也（名大地球水循環） 低コスト降水粒子観測プローブの開発
- C403 足立 アホロ（気象研） レーダーシミュレーターによる偏波パラメタ計算結果のレーダー観測への応用（その3）偏波レーダーによる豪雨をもたらす積乱雲の直前予測の可能性
- C404 篠田 太郎（名大地球水循環） 降水セルの発達段階を客観的に判別するアルゴリズムの開発（その2）
- C405 西川 将典（名大地球水循環） 2台のKa帯レーダを用いた融解層における減衰率の推定
- C406 中井 専人（防災科研・雪氷） SCONE2012 - 新潟県域における降雪検証観測
- C407 中井 専人（防災科研・雪氷） 降水系による降雪粒子種と Ze-R の差異
- C408 泉 岳樹（首都大都市環境） 露場の周辺環境が気象観測に与える影響に関する一考察 東京（大手町）露場の移転を念頭に
- C409 中村 和彦（東大院新領域） 気候変動に関する教育における樹木フェノロジー映像記録の教材利用
- C410 長澤 親生（首都大システムデザイン） 1.6 $\mu$ m 差分吸収ライダーによる CO<sub>2</sub> 濃度鉛直分布の高精度観測（2）
- C411 近藤 雅征（福大理工） GOSAT 衛星プロダクトを用いた陸域炭素循環モデルの改善に向けて

D 会場

台風

座長：山田 広幸 (JAMSTEC)

- D401 山岬 正紀 (JAMSTEC) 積雲対流解像モデルを用いた台風の発生過程の理解に向けて
- D402 佐藤 正樹 (東大大気海洋研) アフリカ波動を起源とする熱帯低気圧発生要因の研究
- D403 山田 広幸 (JAMSTEC) 台風 Fengshen (2008)の発生に寄与する積雲スケール力学過程
- D404 相澤 拓郎 (筑波大院生命環境) NICAM で再現された TC0813 の台湾への接近と渦口スビー波の強化
- D405 宮本 佳明 (理研) 熱帯低気圧の自己励起的発達過程のトリガー
- D406 横田 祥 (東大大気海洋研) ITCZ breakdown に伴う台風の発生・発達メカニズム
- D407 吉村 淳 (東大大気海洋研) Twin Tropical Cyclones の発生に関する理想化実験
- D408 柳瀬 亘 (東大大気海洋研) 熱帯・亜熱帯・温帯の環境場における低気圧の統計解析

座長：金田 幸恵 (JAMSTEC)

- D409 金田 幸恵 (JAMSTEC) 水平解像度 2km の非静力学モデル JMANHM を用いた非常に強い TC の発達に関する感度実験(3)～境界層構造と海面フラックス
- D410 坪木 和久 (名大地球水循環) 温暖化に伴うスーパー台風の数と強度の増加
- D411 伊藤 耕介 (台湾大) 台風の位置を目的関数の値とするアンサンブルベースの感度解析
- D412 山口 宗彦 (気象研) 台風進路予報誤差の診断
- D413 佐伯 拓郎 (神戸大院理) 2011 年台風第 6 号の不規則な動きについて
- D414 大城 久尚 (東大大気海洋研) 西日本の地形が台風 1112 号 (Talas) の構造と進路に及ぼした影響について
- D415 吉岡 七緒 (三重大生物資源) 高頻度ラジオゾンデ観測によって捉えられた台風 1105 号中心近傍の微細鉛直構造
- D416 吉田 健二 (気象庁) 梅雨期における九州の大雨事例に対する熱帯低気圧の間接影響

大会第4日〔5月29日(火)〕 13:30～17:00 専門分科会

A 会場

「2011年の台風 - 台風研究・技術の現状と課題 - 」

座長：北畠 尚子（気象研）

- A451 國次 雅司（気象庁予報） 2011年に日本に影響を与えた台風
- A452 今北 詠士（東京海上研） 気候変動に伴う台風の変化と損害保険
- A453 田中 昌太郎（気象庁） 2011年の台風と大規模場
- A454 北畠 尚子（気象研） 2011年に日本本土に上陸した台風の構造変化と総観場の特徴
- A455 星野 俊介（気象研） マイクロ波放射計データにみられる T1112 および T1115 の構造変化
- A456 小山 亮（気象研） 2011年台風第12号および15号の暖気核に注目した解析
- A457 板野 稔久（防衛大地球海洋） 高層気象観測で得られた台風Roke(T1115号)の浜松上陸前後の構造
- A458 久保田 尚之（JAMSTEC） 2011年台風12号の類似台風 1889年十津川水害の台風と他の類似台風

休憩

座長：和田 章義（気象研）

- A459 中川 雅之（気象庁数値予報） 気象庁全球数値予報システム・アンサンブル予報システムにおける台風進路予報の現状と課題
- A460 永戸 久喜（気象庁数値予報） 気象庁現業メソ数値予報による平成23年台風第12号・第15号に伴う降水予報の特徴
- A461 折口 征二（気象研） 2011年台風第12号の雲解像アンサンブル実験
- A462 加藤 雅也（名大水循環） 平成23年台風12号に伴う紀伊半島における降水の構造の時間変化
- A463 津口 裕茂（気象研） 台風第15号の遠隔で発生した東海地方の大雨
- A464 末木 健太（東大大気海洋研） 台風201112 TALAS シミュレーション:台風と環境場の相互作用
- A465 山田 佳緒（東大大気海洋研） 台風1115 Roke シミュレーション:台風と環境場の相互作用

座長：北畠 尚子（気象研）

- A466 吉岡 真由美（名大地球水循環） 海洋結合・非結合モデルを用いた台風T1115(Roke)の強度の比較
- A467 和田 章義（気象研） 2012年台風第12号の強度変化と海洋との相互作用
- A468 和田 章義（気象研） 台風第15号の急発達に関する数値実験

総合討論

質疑を含めた講演時間は、下線は12分、波下線は8分、その他は10分。

B 会場

「波と平均流との相互作用」

座長：高谷 康太郎 (JAMSTEC)

- B451 宮原 三郎 (九大院理) 波と平均流の相互作用 -AN INTRODUCTION-
- B452 岩崎 俊樹 (東北大院理) 温位座標系に基づく波動平均流相互作用の表現
- B453 相木 秀則 (JAMSTEC/RIGC) 海面波による Vortex Force: 鉛直幅で重み付け平均された運動方程式
- B454 高木 征弘 (東大院理) 金星大気における波と平均流との相互作用

休憩(10分)

座長：榎本 剛 (京大)

- B455 村上 茂教 (気象研) 東西非一様な時間平均場における局所化された変形オイラー平均エネルギーサイクル
- B456 木下 武也 (東大院理) 慣性重力波とロスビー波に適用可能な3次元残差流と波活動度 flux
- B457 野田 彰 (JAMSTEC/RIGC) 非中立波動に基づいて一般化された TEM (GTEM) 不安定 Eady 波への応用
- B458 高谷 康太郎 (JAMSTEC/RIGC) 三次元 TEM 方程式系及び残差循環に関する一考察

総合討論(30分)

司会：林 祥介 (神戸大)

各講演の持ち時間は21分(講演16分+質疑応答5分)。

大会第4日〔5月29日(火)〕 13:30～17:00 専門分科会

C 会場

「温室効果ガス観測技術衛星 GOSAT「いぶき」の利用研究」

座長：吉田 幸生（環境研）

- C451 塩見 慶（JAXA/EORC） GOSAT 軌道上運用およびプロダクト校正の状況
- C452 菊地 信弘（環境研） SPRINTARS を利用した GOSAT SWIR エアロゾル補正アルゴリズム
- C453 吉田 幸生（環境研） GOSAT TANSO-FTS SWIR L2 カラム量プロダクトの改訂
- C454 福田 悟（JAXA/EORC） CAI エアロゾルプロダクトの地上観測との比較

休憩(5分)

座長：大山 博史（JAXA/EORC）

- C455 今須 良一（東大大気海洋研） GOSAT/TANSO-FTS 熱赤外スペクトルによる上部対流圏 CO<sub>2</sub> 濃度解析
- C456 齋藤 尚子（千葉大 CERE<sub>S</sub>） 航空機観測 CH<sub>4</sub> データを用いた GOSAT SWIR XCH<sub>4</sub> と TIR CH<sub>4</sub> のデータ質検証 - GOSAT SWIR および TIR CH<sub>4</sub> データの複合利用を前提として -
- C457 大山 博史（JAXA/EORC） GOSAT 熱赤外スペクトルからのオゾンおよび水蒸気の観測
- C458 稲子谷 昂子（東大大気海洋研） GOSAT 衛星を用いたフロン類等大気中微量気体の解析

休憩(5分)

座長：今須 良一（東大大気海洋研）

- C459 林 洋司（東大大気海洋研） GOSAT 関東集中観測データを用いた対流圏オゾンの観測
- C460 染谷 有（東大大気海洋研） 衛星搭載赤外センサーを用いた南極の極域成層圏雲の検出
- C461 シャミル マクシュートフ（環境研） Estimation of the regional CO<sub>2</sub> fluxes with GOSAT observations and two inverse modeling methods
- C462 眞木 貴史（気象研） 衛星観測データを用いた炭素循環解析

各講演の持ち時間は 15 分(講演 12 分 + 質疑応答 3 分)。

## D 会場

### 物質循環

座長：井口 敬雄（京大防災研）

- D451 石戸谷 重之（産総研） 大気中酸素濃度観測に基づく森林生態系の総一次生産と生態系呼吸の分離評価
- D452 塩谷 雅人（京大生存研） SMILESによる中層大気化学と力学についての成果概要 - II
- D453 小郷原 一智（宇宙研） 至点付近における火星ダスト輸送の地域特性
- D454 松浦 由希（防衛大地球海洋） 静止気象衛星赤外差分画像を用いた黄砂動態の解析
- D455 神 慶孝（名大院環境） タクラマカン砂漠上空における雲中の氷粒子の割合とダストの出現率
- D456 弓本 桂也（気象研） 東アジア域における化学天気予報に対する静止衛星データのインパクト調査
- D457 竹村 俊彦（九大応力研） RCP 排出量シナリオを用いた 1850～2100 年のエアロゾルの分布および気候影響のシミュレーション
- D458 関谷 高志（名大院環境） 全球化学輸送モデルにおける上部対流圏オゾン分布の再現性評価：気象場、鉛直座標系、解像度に対する感度実験
- D459 松井 仁志（東大院理） ブラックカーボンの混合状態を表現した 3 次元モデルの開発と検証
- D460 井口 敬雄（京大防災研） 福島第一原発事故によって放出された物質の輸送シミュレーションにおける大気再解析データに起因する誤差の検証
- D461 渡邊 明（福島大・理工） 福島における放射性物質の降下量の変動
- D462 鶴田 治雄（東大大気海洋研） 原発事故による放射性物質の土壌マップデータの解析（その1）  
<sup>131</sup>I/<sup>137</sup>Cs の沈着量比

## 大会第1日〔5月26日(土)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P101 相澤 拓郎 (筑波大院生命環境) NICAM で再現された北極低気圧の急発達機構
- P102 小林 ちあき (気象研) 従来型観測データのみを用いた長期再解析(JRA-55C)の初期結果
- P103 村田 昭彦 (気象研) AGCM にネストした NHRCM による地上気温の将来変化
- P104 紺野 祥平 (首都大院都市環境) 関東平野西部山地斜面における斜面温暖帯の特徴 - 表面温度と地形・植生の関係について -
- P105 石崎 紀子 (JAMSTEC/RIGC) 冬季日本海における気団変質と SST の影響
- P106 辻野 智紀 (名大地球水循環) 熱帯低気圧の内部コアにおける渦ロスビー波の検出
- P107 Coronel Rochelle (東北大院) A comparative study on the impacts of PBL schemes and surface drag coefficient to the intensification of Typhoon Megi(2010)
- P108 古川 達也 (東大大海研) ケルビン波と MJO に伴う対流の出現頻度と環境場の解析
- P109 今井 裕一 (日大院) 東アジア地域における海面気圧分布パターンの客観分類 - 夏季の特徴的な分布パターンの解析 -
- P110 平田 英隆 (富山大学理) 北インド洋ベンガル湾で発生する熱帯低気圧とアジアジェットの相互作用
- P111 小司 禎教 (気象研) GPS 可降水量の高層ゾンデ観測との長期比較(序報)
- P112 寺崎 康児 (筑波大計算科学) 重力波成分の鉛直 p-速度スペクトルの特徴
- P113 長門 祐太 (筑波大院生命環境) 冬季北半球における地上気温の変動と北極振動の関係
- P114 海野 友美 (筑波大院生命環境) 北極海およびグリーンランドの近年の温暖化と北極振動の関係について
- P115 宮崎 真 (北大院地球環境) モンゴル北部永久凍土域のカラマツ林における水文気象・生態・年輪年代の長期モニタリングの初期解析
- P116 石田 祐宣 (弘前大院理工) 白神山地ブナ林における蒸発散量の季節変化特性
- P117 岡田 靖子 (北大院環境) 沖縄梅雨の気候学的時間発展と5月と6月の特徴の違い
- P118 大方 めぐみ (気候システム研究系) 三次元離散の放射収支算定に関わる放射伝達解法の研究
- P119 下瀬 健一 (産総研) 太陽光発電量予測に向けた気象庁メソ数値予報モデル (MSM) の短波放射量の検証 - つくばでの誤差要因の解析 -
- P120 片桐 秀一郎 (東北大 CAOS) 福江島観測サイトでの取得データおよび MTSAT データを用いた大気放射に関する解析
- P121 齊藤 雅典 (東北大院理) 薄明の空の色と対流圏エアロゾルの関係
- P122 足立 光司 (気象研) カリフォルニアで採取された“すす粒子”の形態及び混合状態の日変化
- P123 田中 典章 (山梨大) 新型スカイラジオメータを用いた海洋性エアロゾルの船上観測
- P124 財前 祐二 (気象研) つくばで観測された超微粒子数濃度の日変化
- P125 齊藤 秀太郎 (海洋大院) 雲・エアロゾル相互作用における水蒸気量の影響 - MODIS 観測データの解析 -
- P126 川合 秀明 (気象研) 中高緯度の海洋下層雲の鉛直構造及び気象要素との関係
- P127 澁谷 亮輔 (東大院理) LES を用いた境界層日変化の再現と物質拡散及び雲に関する研究
- P128 中村 貴 (気象庁環境気象) 異なる鉛直拡散スキームを持つ CO<sub>2</sub> 輸送モデル間の輸送特性比較
- P129 井上 誠 (環境研) 航空機観測データを用いた GOSAT TANSO-FTS SWIR XCH<sub>4</sub> プロダクトの検証
- P130 石島 健太郎 (JAMSTEC/RIGC) インバースモデリングによる地域別 N<sub>2</sub>O フラックス季節変動の推定
- P131 水戸 俊成 (首都大地理) 風力発電所の立地と発電量に関する研究太鼓山風力発電所と苫前夕陽丘ウィンドファームの実測データを用いて



## 大会第1日〔5月26日(土)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P132 東 邦昭 (京大生存研) 傾斜型ウインドプロファイラーと LES を組み合わせた境界層の数値シミュレーション
- P133 西 暁史 (筑波大院生命環境) 空っ風のメカニズム解明のための局地気象モデル開発
- P134 木下 仁 (福岡管区气象台) 2011年6月5日日本海の霧域で可視化された内部重力波について
- P135 渡部 桂子 (愛媛大院理) 松山平野におけるドライアイランド現象に関する研究
- P136 重田 祥範 (立正大・地球環境) ヒートアイランド発生時に都市上空で出現するクロスオーバー現象 - 係留気球を用いた気温の鉛直プロファイル観測 -
- P137 奥 勇一郎 (大阪市環科研) ヒートアイランド緩和策の視点から見た海風冷却効果の定量評価の試み
- P138 新美 昂平 (気象大) 海陸風の解析解 北緯30度ではどうなるのか
- P139 関 隆則 (気象予報士会) 結氷量で見た2011年~2012年冬の特徴
- P140 遠藤 伸彦 (JAMSTEC/RIGC) マレーシア国サラワク州における降水現象の日変化: 現業レーダーの活用
- P141 吉田 大紀 (気象情報通信(株)) 一体型気象センサーの野外比較観測
- P142 佐藤 晋介 (NICT) 気象レーダーデータの情報化と3次元可視化
- P143 Mahavik Nattapon (Climate Physics Lab) Calibration of weather radar for analyzing precipitation distribution in Thailand
- P144 ウェッチャーヨン パリチャート (東北大院理) A Method of Identifying Precipitating Clouds in Thailand using Radar
- P145 Noor Hafizah Abdul Aziz (京大生存研) Development of Signal Processing Software for New Turbulence Profiler Radar
- P146 山本 真之 (京大生存研) 突風災害の低減に向けた小スケール乱流検出手法の開発
- P147 藤田 俊之 (京大生存研) Configurableなレーダー用デジタル受信機の開発
- P148 斎藤 篤思 (気象研) 氷晶核測定装置の測定精度の検証(その2)
- P149 齊藤 洋一 (千葉大 CEReS/日本無線) 衛星ラピッドスキャンによる孤立積乱雲の成長過程の解析
- P150 秋田 学 (阪大院工) 広帯域干渉計と Lightning Mapping Array(LMA)を用いたニューメキシコにおける雷観測
- P151 鈴木 智幸 (防衛省) 冬季スプライトを発生させた雷雲の電荷構造
- P152 高野 哲夫 (SnowCast/気象予報士会) 新潟県内における冬の季節風と降雪をもたらす雲域形成の関係
- P153 瀧 丈晴 (名大地球水循環) 2011年2月に北海道東部内陸で観測された降雪雲の降水粒子判別
- P154 堀場 晃平 (高知大院理) 高知に短時間強雨をもたらす降水パターンの分類
- P155 Lee Keun-Ok (名大地球水循環) Environmental condition of localized heavy rainfall in Seoul metropolitan area during 26-27 July 2011
- P156 上野 健一 (筑波大院生命環境) 山岳域における冬季降雨の発生傾向と低気圧活動
- P157 門倉 真二 (電中研) 統計的手法による気象要素の確率密度推定(3)—河川流域降水量—
- P158 国井 勝 (気象研) WRFを用いた LETKF 実験システムの開発
- P159 黒田 徹 (JAMSTEC) インクリメント法 LETKF を用いた実験システムの構築(第4報)
- P160 西野 逸郎 (気象業務隊) 台風1115号(ROKE)の中心付近における高層気象観測等の結果について
- P161 大西 晴夫 (一般) 台風の脅威度(台風力)を表す指標について
- P162 安藤 紘基 (東大・理) 金星大気における大気重力波の鉛直波数スペクトル

## 大会第2日〔5月27日(日)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P201 原田 やよい (気象庁気候情報課) 気象庁 55 年長期再解析 (JRA-55) の性能評価の中間報告
- P202 上口 賢治 (気象研) 高解像度 GCM を用いた 21 世紀末の大雨リスクマップ作成について
- P203 瓜田 真司 (首都大院都市環境) 日本における近年の大雨の出現頻度とその分布に関する研究
- P204 長谷 直樹 (気象大) 補正を考慮した日本における気温の日較差の長期変動
- P205 坪井 彩 (京大防災研) 熱帯低気圧の発生数と発生ポテンシャルの年々変動
- P206 柳瀬 亘 (東大大気海洋研) 熱帯・亜熱帯・温帯の環境場における低気圧の理想化実験
- P207 高橋 千陽 (JAMSTEC) 冬期 MJO の中緯度移動性擾乱活動度への影響
- P208 田中 実 (所属なし) 夏の mid-Pacific trough の東西変動と日本付近の温暖高気圧の関係
- P209 濱田 純一 (JAMSTEC/RIGC) MJO 通過に伴うスマトラ島沿岸多雨域の大気鉛直構造の変化  
- HARIMAU2011 集中観測結果速報 -
- P210 丸山 文男 (名大院環境) レジーム・シフトと大気と海洋の時系列のフラクタル性の変化の関係
- P211 伊藤 享洋 (気象大) 渦 Rossby 波の指数関数型・一次関数型成長解
- P212 木野 公朝 (筑波大院生命環境) AOI 方程式を用いた 10 年スケールの北極振動の力学的成因
- P213 関 佐和香 (筑波大院生命環境) 北極振動と傾圧不安定波動の 3 次元相互作用に関する研究
- P214 伊藤 陽晃 (筑波大院生命環境) 暖冬寒冬年における冬期降水量分布の経年変化
- P215 仲江川 敏之 (気象研) 6 つの衛星ベース全球土地被覆データセットの水関連土地被覆比較
- P216 西脇 夏樹 (筑波大院生命環境) モンスーン期のチベット高原における雲活動の年々変動
- P217 阿部 紫織 (筑波大院生命環境) 多治見市における夏季の気温分布の実態調査(その 2)
- P218 深堀 正志 (気象大) 芝の波長別アルベドにみられたレッドエッジにおける微分スペクトルの特徴
- P219 藤瀬 優一 (気象大) 各種地表面の分光アルベド及び植生指数の季節変化
- P220 朽木 勝幸 (気象研) 全天分光日射計を用いた積雪物理量の推定に及ぼす積雪粒子形状の効果
- P221 岡田 牧 (筑波大院生命環境) 公園緑地への黒球温度推定式の適用性
- P222 田中 泰宙 (気象研) 気候モデルによる黒色炭素エアロゾル削減の有効性評価のための感度実験
- P223 小林 拓 (山梨大) 巨大黄砂粒子は日本に飛来しているか
- P224 榎本 孝之 (東京理科大) 偏光 OPC による非球形粒子の偏光解消度の測定
- P225 長谷川 朋子 (東京理科大) 富士山山頂における雲凝結核濃度の測定と closure study
- P226 新堀 敏基 (気象研) 2011 年霧島山 (新燃岳) 噴火に伴う量的降灰予測 気象レーダーにより観測された噴煙エコー頂高度の利用
- P227 畠山 早也夏 (福島大理工) 2000 年~2010 年におけるアジアの異常気象と陸域炭素循環の関係
- P228 松田 真 (RISH) 複数のリモートセンシング機器を用いた大気境界層の微量成分観測
- P229 坪井 一寛 (気象研) 南鳥島に飛行する C-130H 輸送機で観測された温室効果ガスの濃度変動
- P230 萩野谷 成徳 (気象研) チベット高原ナム湖畔の気象観測
- P231 相曾 豪夫 (防衛大地球海洋) ゾンデ観測で得られた大気境界層の熱収支

## 大会第2日〔5月27日(日)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P232 陳 桂興 (東北大院理) A numerical study of horizontal convective rolls and near-surface streaks around Sendai Airport
- P233 菊地 亮太 (東京理科大学) ラジオゾンデ観測による富士山の山岳波の下降流と乱気流の関係
- P234 桑門 遼 (筑波大院生命環境) 百里基地周辺における霧の気候学的特徴
- P235 加藤 隆之 (筑波大院生命環境) 湖盆地形における夜間の二次元局地気流モデルの開発と陸風・斜面下降流への適用
- P236 重田 祥範 (立正大・地球環境) 海風の侵入方向の違いが気温形成に与える影響
- P237 野口 淡海 (東工大) 都市境界層における大気乱流及びフラックスの年間スペクトル解析
- P238 足立 幸穂 (JAMSTEC/RIGC) 東京都市圏夏季を対象とした都市形態変化によるヒートアイランド緩和効果
- P239 石 蕊 (東工大総理工) 岐阜県多治見市における夏期の屋外温熱生理被験者実験
- P240 佐藤 一敏 (京大国際融合) 西アフリカ・サヘル地帯における地上気象観測・GPS 気象観測 (序報)
- P241 石田 春磨 (山口大院理工) MTSAT2 と海水温データを利用した霧検出手法の検討
- P242 八木 綾子 (東工大理工) ライダーの視線方向速度から2次元風速を推定する方法 - Velocity Image Velocimetry -
- P243 越田 智喜 (いであ) XバンドMPレーダとCバンドレーダの誤差特性
- P244 中村 健治 (名大地球水循環) 国交省XバンドMPレーダと熱帯降雨観測衛星TRMM搭載降雨レーダの各パラメータの比較
- P245 瀬戸 心太 (東大生産研) 地上気象観測1分値データとTRMM/PR/V7を用いた短時間降水強度極値
- P246 中村 佳敬 (神戸高専) 大阪平野におけるKu帯広帯域レーダと衛星搭載レーダの比較検討
- P247 澤田 岳彦 (明星電気) エアロゾルゾンデと雲粒子ゾンデによる霧島山新燃岳の噴煙粒子観測
- P248 杉立 卓治 (北大院環境) 気候監視のためのラジオゾンデ用水蒸気センサの開発
- P249 木下 陽平 (北大院理) 合成開口レーダ干渉法データに基づく2008年9月西濃豪雨時の三次元水蒸気分布の推定
- P250 桂 啓仁 (防衛大地球海洋) セオドライトを用いた直接観測による積乱雲成長速度の推定
- P251 丸井 知鶴 (筑波大地球学類) セルトラックされた雷雲にみられるレーダーエコーの統計的特徴 - 2010年7月25日に関東域で発生した熱雷についての事例解析 -
- P252 高野 哲夫 (SnowCast/気象予報士会) 新潟県長岡市内における降積雪の観測データ解析による分布特性
- P253 三隅 良平 (防災科研) 雲の含水率に関する経験式
- P254 泉 岳樹 (首都大都市環境) 都市における集中豪雨に都市形態が与える影響 - 東京を対象としたアンサンブル実験 -
- P255 久野 勇太 (筑波大院生命環境) 濃尾平野で真夏日の午後に観測された短時間強雨の実態調査
- P256 西 暁史 (筑波大院生命環境) 環境省大気汚染物質広域監視システム「そらまめ君」の地上気象観測値の特性調査
- P257 岩崎 杉紀 (防衛大地球海洋) 中高緯度の対流圏界面まで達する深い対流
- P258 古林 慎哉 (気象庁気候情報) JRA-55における再処理GMS/MTSAT観測データの利用について
- P259 瀬古 弘 (気象研) 準天頂衛星の水蒸気データの観測システムシミュレーション実験
- P260 池田 直紀 (筑波大院生命環境) Xバンドマルチパラメータレーダを用いた2010年台風9号に伴う豪雨の解析
- P261 小田 真祐子 (東京管区气象台) ロスピー波と重力波の相互作用の臨界解
- P262 馬場 峻司 (筑波大地球学類) 地球大気に観られる慣性重力波の広域空間分布の研究

## 大会第3日〔5月28日(月)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P301 原田 やよい (気象庁気候情報課) JRA-55 の等温位面プロダクトを用いた大気循環場の再現性の検証
- P302 日谷 道夫 (気象研) AGCM にネストした NHRCM による温暖化実験 - 雪水量 -
- P303 花房 瑞樹 (気象研) 高解像度日本域気候モデルによる局地風の再現性と将来変化 ~ 山形県清川だしの例 ~
- P304 若月 泰孝 (筑波大院生命環) パーフェクト実験による疑似温暖化手法の問題点調査: 湿度変化
- P305 徳野 正己 (気象研) 2011 年台風第 17 号のフィリピン上陸時の雲の特徴
- P306 高村 奈央 (京大防災研) 台風が温低化後急速に再発達するときの CPS の振る舞い
- P307 安永 数明 (JAMSTEC) CINDY2011 で観測された MJO に伴う赤道上の南北風の強化
- P308 久野 龍介 (北大院理) サンプリング = ダウンスケーリングの開発 ( ) 手法の概要と地域降水と共変動する大規模場の同定
- P309 田上 雅浩 (熊本大院自然) HARIMAU2010 における降水起源の推定と降水安定同位体の日変化
- P310 濱田 篤 (東大大気海洋研) 局所的な環境場による降水レジーム分類の試み
- P311 越智 健太 (気大) 2009 年 1 月の成層圏突然昇温における対流圏から下部熱圏全域に生じる力学的結合の解析とモデル実験
- P312 塩田 美奈子 (富山大院 理工) 冬季黒潮流域周辺の低気圧活動に影響を与えるモンスーンと SST 勾配の効果
- P313 上野 健一 (筑波大院生命環境) 中国大陸上を南下するコールドサージの伝播経路と季節内変動
- P314 鈴木 香寿恵 (ISM) 南極内陸調査ルート上の年間涵養量と大気輸送の関係
- P315 石井 翔太 (東北大院理) アフリカ大陸における火災によるブラックカーボンの放出と気候と植物の関係
- P316 高薮 縁 (東大大気海洋研) 日本周辺の Atmospheric River の構造と降水について
- P317 杉本 志織 (北大院地球環境) 夏季の釧路における霧日数の長期変化傾向に関する気候学的解析
- P318 増田 一彦 (気象研) 非球形粒子の赤外域での吸収・散乱特性
- P319 山田 恭平 (東北大学院理) 放射因子の地表面下向き長波放射に対する寄与
- P320 後藤 慎司 (名大院環境) 温室効果ガスの増加によって成層圏が温暖化する放射平衡解の領域の存在とその実現性
- P321 森 樹大 (電中研) 夏と秋に測定した粒子状炭素に対するアーティファクトの影響評価
- P322 矢吹 正教 (京大生存研) 接地境界層におけるエアロゾル・微量気体の鉛直観測
- P323 富松 将司 (東京理科大院理) フィリピン東方海上で捕集した巨大硫酸塩粒子
- P324 及川 栄治 (東大大気海洋研) CALIPSO 衛星データを用いたエアロゾル直接効果に関する研究
- P325 五十嵐 康人 (気象研) 茨城県つくば市で福島事故後に観測された人工放射能降下量
- P326 石崎 安洋 (地球環境研究センター) 降水スケーリングパターンの RCPs 排出シナリオ依存性
- P327 桐山 悠祐 (東京理科大院理) 夏季関東内陸部における午前中の高濃度オゾンのシミュレーション
- P328 澤 庸介 (気象研) 航空機による連続観測から明らかになった上部対流圏 CO<sub>2</sub> 濃度の変動強度 - 1 つの CO<sub>2</sub> 濃度観測データはどの程度の空間代表性を持っているか? -
- P329 松枝 秀和 (気象研) 定期航空機観測による高度 10km におけるメタン濃度の長期変動
- P330 堀口 光章 (京大防災研) 大気境界層における組織的乱流構造の出現状況の変化 - 気象観測鉄塔(つくば)データの解析より -
- P331 南雲 信宏 (気象研) NHM における境界層過程の解像度依存性の検証

## 大会第3日〔5月28日(月)〕 11:30~12:30 ポスター・セッション

- P332 服部 康男 (電中研) 風洞実験による中立大気接地層の乱流構造への洞察(ストリーク構造の空間スケール依存性解明)
- P333 相曾 豪夫 (防衛大地球海洋) 霧の解消過程に関する研究
- P334 稲村 友彦 (首都大院都市環境) 局地風「まつぼり風」の吹走メカニズム - 上空の風向と阿蘇外輪山の地形に着目して -
- P335 佐藤 由布子 (東京学芸大) 東京の内陸部と沿岸部における気温の日変化の季節依存性
- P336 渡辺 修 (東工大国際開発) 実都市幾何形状を考慮した都市境界層の Large Eddy Simulation
- P337 伊東 瑠衣 (京大院理) 土地利用変化に伴う気温上昇への地理的条件の影響
- P338 仲吉 信人 (東工大院理工) 人体装着型の熱環境・生理応答計測システムの開発
- P339 中村 和彦 (東大院新領域) 画像による樹木フェノロジー観測のための簡易なオープンソース画像解析ツールの開発
- P340 岩井 宏徳 (NICT) シーロメータによる沖縄本島沿岸域の大気変動の観測
- P341 山田 芳則 (気象研) 面相関法とドップラー速度データとを組み合わせる海水の移動速度を算出する試み
- P342 越田 智喜 (いであ) XバンドMPレーダで観測された融解層の特徴
- P343 金 東順 (防災科研) Composite Map of Polarimetric Parameters and Rainfall Amounts from an X-band Polarimetric Radar Network in the Tokyo Metropolitan Area
- P344 土井 啓史 (名城大) TRMM PR と AMeDAS による降水季節変化の地域的特徴
- P345 牛尾 知雄 (阪大院工) Ku 帯広帯域レーダによる山形県庄内空港における冬季観測
- P346 鈴木 賢士 (山口大農) 新しいビデオゾンデ受信システムの開発
- P347 菊地 亮太 (東京理科大学) 小型軽量オゾンセンサの上空大気観測への適用性評価
- P348 橋本 明弘 (気象研) 地上発煙装置による雲シーディングに関する数値実験
- P349 遠藤 寛也 (京大防災研) 静止気象衛星を用いた雲粒特性の観測
- P350 吉田 智 (阪大院) VHF/LF 帯広帯域干渉計を用いた雷放電リアルタイム表示システムの開発
- P351 橋本 篤 (電中研) 水平解像度 15km/5km の領域気候モデル(WRF)を用いた1年間の再現実験(水平解像度 5km での積雲対流パラメタリゼーションの有無が降水の再現性に与える影響)
- P352 佐々 浩司 (高知大理) スーパーセルシミュレーターにより再現された多重竜巻の構造
- P353 大井川 正憲 (京大生存研) 非静力学モデルを用いた豪雨時の水蒸気変動の解析
- P354 草川 敬之 (京大防災研) 濃尾平野における夏期の降水特性
- P355 工藤 風貴 (関西学院大総合政策) 真夏日の午後に大阪府で発生した短時間強雨に関する統計調査
- P356 山本 勝 (九大応力研) SST プロダクトの違いが 2011 年台風 12 号の降水に与える影響
- P357 原 政之 (JAMSTEC/RIGC) 全球雲解像モデル NICAM を基にした領域気候モデルの開発
- P358 原田 昌 (気象庁気候情報) 顕著予測指数(Extreme Forecast Index)を用いた顕著現象予測資料の開発
- P359 LE Duc (JAMSTEC) A data assimilation experiment of Myanmar cyclone Nargis based on NHM-LETKF
- P360 横内 絢子 (気象協会) Twitter を活用した地域防災情報収集伝達支援システムの設計・開発 ~ 普及するソーシャルメディアによる自治体と住民の自発的な災害情報共有を支援する取り組み ~
- P361 小松 麻美 (気象協会) 気象教育普及活動の実践と報告 ~ 群馬県板倉町「水防学校」における天気 of 授業 ~